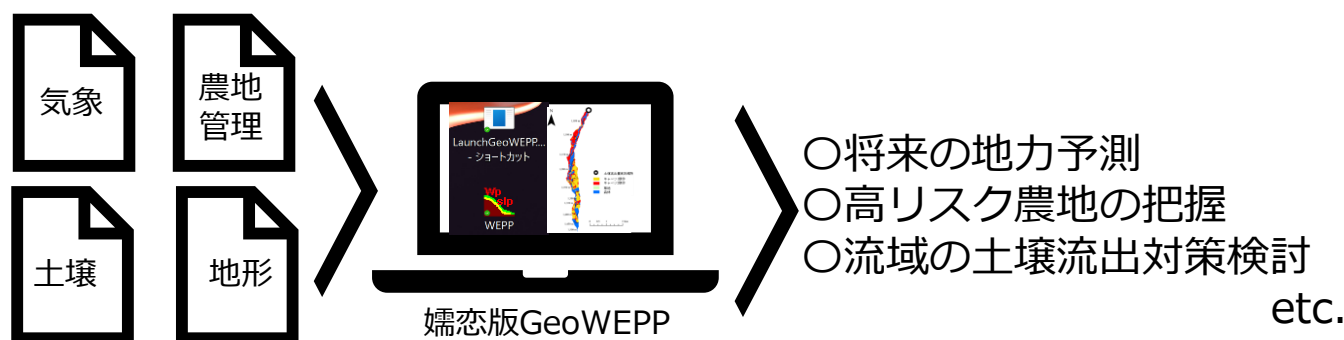


# 土壌流出予測モデル（孺恋版GeoWEPP）の開発

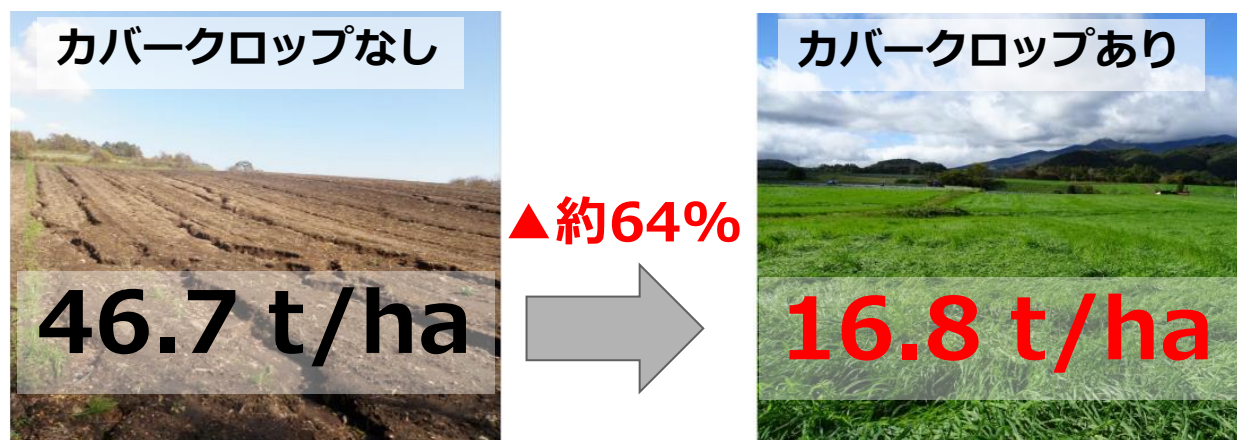
農地流域からの土壌流出量を予測できる孺恋版GeoWEPP\*モデルを開発しました。このモデルは、カバークロップの導入などによる流出抑制効果を計算でき、流域単位での土壌保全対策の立案に役立ちます。これまで不明だったカバークロップ等の土壌流出対策の効果を「見える化」し、対策立案に役立てます。

\* GeoWEPPは現米国農務省侵食研究所のRenschler他が開発した流域からの土壌流出を予測するモデルです。GeoWEPPを3年間の実測値を使って精度よく計算できるように校正したものを孺恋版GeoWEPPと呼んでいます。

## 流域からの土壌流出量を予測して対策に役立てます



## 令和元年10月12日（台風19号）におけるキャベツ栽培後のカバークロップ（エンバク）導入による土壌流出量削減効果試算



### 利用上の注意事項

- 1 孺恋版GeoWEPPモデルは多腐植質厚層アロフェン質黒ボク土が分布する流域でGeoWEPPを校正したものです。他の土壌種が分布する地区で計算する場合は、その都度校正することをお勧めします。
- 2 本モデルはカバークロップの導入の他に、栽培時期の変更や耕うん方法の変更など様々な営農的対策の効果を試算することができるので、土壌保全計画の立案に活用することができます。

本研究は、JSPS科研費(JP19H00958)の支援を受けて行いました。